

<東北地区納税貯蓄組合連合会長賞>

## もし、税金がなかったら。

白河市立白河中央中学校

3年 小貫 華子

昨年4月、消費税率が上がり、不満の声をよく耳にしていました。ニュースなどでも多くとりあげられ、大きな話題となりました。私自身、「消費税なんてなんであるのだろう。」「高くなって大変だな。」「そもそも、税金は何に使われるのだろう。」とっていました。

しかし、先日学校の授業で、租税教室が行われました。そこには、本物の税理士さんが来てくださり、色々なお話をしてくれました。

もし、税金がなかったら。どんな世の中になるとおもいますか？物価も安くなり、一人ひとりがかかえる負担も少なくなり、生活が豊かになる。

いいえ、ちがいます。

もし、税金がなかったら。想像してみてください。

夜、家に帰るため歩いています。すると、うしろから黒い服を着て、帽子を深くかぶった、怪しい男の人が走ってきます。追いぬかされるとカバンが軽くなっていて、中を確認すると財布がありません。

警察を呼びます。しかし、警察を出動させるのにもお金がかかり、緊急事態に対応できず、やむをえなくなってしまいます。

警察だけではありません。病院だって、学校だって、消防署だってそうです。

そして、日本はたえまなく犯罪が起こり、病院でも治療を受けられない子どもが増え、少子高齢化が進み、治安も悪くなって、不景気になってしまうのです。

これは、決して、大げさな話ではありません。

私はこの話を聞いたとき、とてもおどろきました。税金がそんなに大事な役割を果たしていたなんて。ましてや、税金がなければ日本はこの先一体どうなってしまうのかと。

それに、もし、税金がなかったら。

福島県民である私達も体験した、「東日本大震災」。

震災当初、あまりに大きなゆれのせいで、壁にひびが入ったり、地面が割れていたり、水道やガス、電気が止まってしまう家もあったりしました。しかし、一番の被害は放射線でした。

そんな中、ここまで復興へと進むことができたのも、税金のおかげなんだと思うと、改めて税の重要性を実感することができました。

税は、なくてはならないものです。私達が物を買った時に払う税は、どこかでだれかの役に立っている。社会が発展するためには欠かせないものである。そう思ったら、これくらいと思いませんか？

もし、税金がなかったら。消費税率の上昇や、税については、私達中学生も他人事では済まされない、よく考えなければならない課題だと思います。「税」についての理解をより深め、社会に貢献できるような大人になりたいと思います。